

2 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査は、幅広く児童・生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童・生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意が必要です。

また、平均正答数・平均正答率(※)については、各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果と単純に比較することは適当ではないことに留意が必要です。

さらに、平均正答率については、「全国学力・学習状況調査 報告書」(国立教育政策研究所)では、「平均正答率の±10%の範囲内であり、大きな差は見られない」としており、本市でも「平均正答率の±10%」を目安として調査結果を整理しました。

※ 平均正答数は、児童・生徒の正答数の平均の値です。

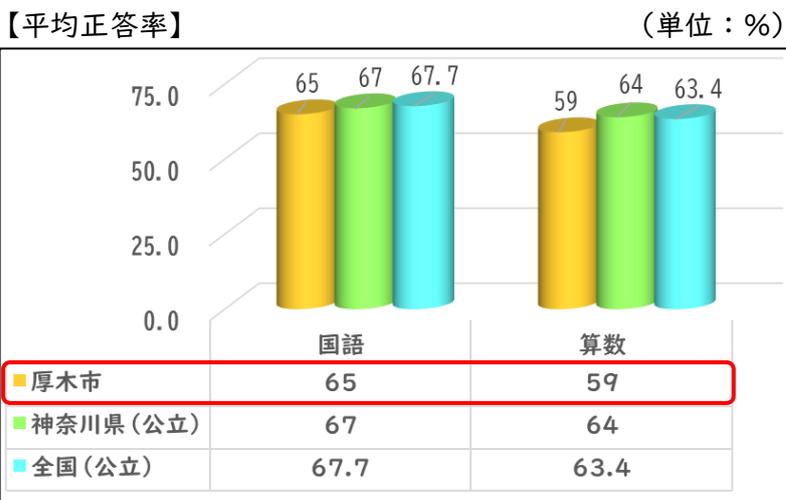
平均正答率は、平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)です。

県と市の値は、整数値(四捨五入した数値)で文部科学省から示されています。

3 教科(国語、算数・数学)に関する調査結果

小学校

	国語	算数
平均正答数	9.1問	9.5問
質問数	14問	16問



中学校

	国語	数学
平均正答数	8.6問	8.5問
質問数	15問	16問

